



# Flash News

三重大学

第70号

目次

お知らせ&ご報告

- 平成21年度入学式
- 伊賀研究拠点 開所式
- 株式会社第三銀行と産学連携に関する包括協定締結
- 「三重大学外国人留学生寄宿舎」竣工式
- 平成21年度科学研究費補助金の交付内定について
- 「第2回三重大学・鈴鹿医療科学大学連携協議会」を開催
- 生物資源学研究科がJAグループ三重と連携協定再締結
- 「三重大学COE追加」研究報告会を開催

- 附帯施設農場「地域コミュニティ施設」で農産物販売
- 第16回ICERP(アイセック)研究会「教育実践研究発表会とセンター改組10周年記念フォーラム」を開催
- 白衣授与式
- 天津師範大学留学生との対面式
- 三重大が日本酒「三重大学」を販売中
- 地域イノベーション学研究科長選出
- 社会連携チームから
- 国際交流センターから

## 平成21年度入学式

4月8日、講堂において、平成21年度の三重大学入学式が学部生1,388名、大学院生523名、専攻科10名、編入学生89名、合計2,010名を迎えて行われました。式では、内田淳正学長より「自らの意識を変革することが大いなる成果を生むことに繋がると信じています」と式辞が述べられました。



## 伊賀研究拠点 開所式

4月3日、伊賀市ゆめが丘において、産学官連携地域産業創造センター「ゆめテクノ伊賀」の竣工式典が行われ、約100名の関係者が祝いました。三重大学は「伊賀研究拠点」として、この施設で研究活動を開始します。本学を代表して内田淳正学長は、「環境・食・文化に関する研究拠点として伊賀地域に大きく貢献したい」と、今後の抱負を述べられました。

## 株式会社第三銀行と産学連携に関する包括協定締結

4月20日、三翠会館において、内田淳正学長、(株)第三銀行伊藤準一頭取をはじめ関係者の出席のもと、相互の発展と地域社会への貢献を目的として「地域産業の活性化」、「地域資源の活用」、「学術的活動の推進」、「人材交流・育成」を協働して進めるため、標記包括協定を締結しました。具体的な活動として「農水商工連携を前提としたマーケティング研究会」(代表：渡邊明名誉教授)の設置および「地域イノベーション連携を前提とした地元企業育成」(代表：西村訓弘教授)の支援を予定しています。



伊藤準一頭取 内田淳正学長

## 「三重大学外国人留学生寄宿舎」竣工式



3月30日、標記寄宿舎の完成記念式典が行われました。豊田長康学長(現：学長顧問)および小林英雄理事(現：工学研究科教授)による挨拶の後、留学生代表のトングサディーさん(生物資源学研究科博士後期課程)から謝辞が述べられ、留学生寄宿舎の完成に喜びの声が寄せられました。式典には学内関係者ら約30名が出席し、テープカットの後、寄宿舎内を見学しました。

## 平成21年度科学研究費補助金の交付内定について

4月1日、平成21年度科学研究費補助金の交付内定(一覧：<http://www.mie-u.ac.jp/gakunai/kaken/naitei/21/top.html>)を受けました。内定件数246件、採択金額521,240千円(直接経費)で、その内、新規採択件数は114件(昨年度88件)でした。総件数では、前年度に比べると9件、金額で30,410千円増加しました。また、研究活動の発展と推進を図ることを目的に設置された「研究推進戦略室」(室長:加納 哲 副学長)では、より一層の応募・採択件数の増加を目指して、説明会の開催やアドバイザー制度の充実などを予定しています。

## 「第2回三重大学・鈴鹿医療科学大学連携協議会」を開催

2月27日、標記協議会が鈴鹿医療科学大学において開催されました。今回の協議会では、新大学院の共同設置、学生実習の協力、ホームページの相互リンク、地域貢献事業や各種支援事業への共同申請などについて積極的な意見交換が行われ、有意義な協議会となりました。今後は、これらの連携事業の詳細について担当理事等の間で検討していく予定です。

**生物資源学研究科がJAグループ三重と連携協定再締結**

3月12日、生物資源学研究科は、JAグループ三重と連携協定を再締結しました。平成18年2月に両者は連携協定を結び、共同研究、生物資源学研究科の社会連携推進活動などを進めてきました。3月31日、この協定期間が満了するにあたり、再度連携協定を締結することになりました。今後も協定に基づき、地域農業振興に向けての諸研究の推進や公開発表、懇談会の開催などを通じて、さらなる協力関係を築いていきます。



**「三重大学COEプロジェクト」研究報告会を開催**

3月17日、平成16年度～平成20年度に実施された標記研究報告会がメディアホールにおいて開催されました。報告会では「世界に誇れる世界トップレベルの研究拠点」(報告者：鈴木宏治教授・医学系研究科〈現理事〉、石田宗秋教授・工学研究科、久松眞教授・生物資源学研究科)と「学部として育てたい国内トップレベルの研究」(報告者：朴恵淑教授・人文学部、根津知佳子准教授・教育学部)の研究成果について報告が行われました。また、質疑応答では、評価委員などからのコメントや質問・意見など、熱心な討議が行われ、参加した教員達も興味深く聴き入っていました。

**附帯施設農場「地域コミュニティ施設」で農産物販売**

3月17日、車庫を改修して標記施設が完成しました。木壁には、農場から約65km離れた美杉演習林から学生実習で切り出した間伐材を主に利用し、安らぎのある落ち着いた施設に生まれ変わりました。改修した真新しい屋外トイレも施設と同じ間伐材が使われています。また、農産物の販売には約200名の地域の方々が野菜、花苗、加工品などを買い求め、約2時間で準備した品物は売り切れるほどの好評でした。



**第16回iCERP(アイサープ)研究会「教育実践研究発表会とセンター改組10周年記念シンポジウム」を開催**

3月26日、教育学部の教員内地留学生や大学院生の研究成果を公開し、活用機会を広げることを目的に、教育実践総合センター(iCERP)主催の標記研究会がメディアホールで開催されました。14題の口頭発表、9題のポスター発表、「教育学部の地域連携をどう展開するか」と題したシンポジウムがあり、活発な実践交流が行われました。当日は、過去最高の86名の参加があり、盛況でした。

**白衣授与式**

3月30日、臨床実習がスタートする医学科新5年生95名を対象とした白衣授与式が講堂において開催されました。この式典は、学部長、病院長、教務委員長など教員が出席し、優秀学生の表彰の後、学生一人ひとりに白衣を着せ、医師を志すものとしての倫理観、「プロフェSSIONALISM」と医師としての自覚を促すことを目的とするものです。当日は、約100名の保護者も参列し、荘厳な雰囲気のなかで行われました。



**天津師範大学留学生との対面式**

4月6日、教育学部第1会議室において本学と天津師範大学のダブル・ディグリー制度に基づく、天津師範大学国際教育交流学院からの第1期留学生21名を迎え、上垣 渉学部長・教育学部、馬静講師・天津師範大学をはじめ関係者出席のもと、対面式が行われました。教育学部長の歓迎の言葉に続いて、留学生代表の趙浩童さんが「三重大学で学ぶことができるのは貴重な機会。一生懸命頑張りたい」と流暢な日本語で抱負を述べました。両大学の学位取得を目指しての学習が4月13日から始まっています。

**三重大ブランド日本酒「三重大学」を販売中**

インターンシップ制度を利用して生物資源学部の学生13名が寒紅梅酒造で、1月10日に酒母造りを開始し、2月下旬にはお酒を搾り、3月7日から日本酒「三重大学」の販売を開始しました。この酒米は、附帯施設農場で栽培・収穫した新品種「弓形穂(ゆみなりほ)」で品種登録・商標出願中です。大学ブランドにこだわった純米大吟醸と大吟醸の2種類のお酒は、手作業の酒造りからラベル作り、販売にも学生が積極的に参加し、純粋な学生の熱き思いの伝わる他所にはない清い酒となりました。

**地域イノベーション学研究科長選出**

地域イノベーション学研究科では、鶴岡信治教授が研究科長に選出されました。任期は、2009年4月1日から2年間です。

**お知らせ&ご報告**

4月1日付で創造開発研究センターが社会連携研究センター(センター長：鈴木宏治理事)に改名されました。

**社会連携チームから** Seeds集を発行しました。HP (<http://www.crc.mie-u.ac.jp/seeds/>)でもご覧いただけます。

**国際交流センターから - 《学長表敬訪問&大学訪問》**

○コロン大学(タイ)…大学間協定  
上海交通大学医学部(中国)…学部協定  
1. 日時：2009年3月10日 10:00～11:00  
2. 訪問者：医学部学生 4名  
3. 同席者：駒田医学系研究科長、堀医学系研究科准教授、安藤医学系研究科准教授、櫻井医学部附属病院講師

○カリフォルニア大学アーバイン校  
1. 日時：2009年3月14日 9:30～11:30  
2. 訪問者：ア-スマン教授(研究担当准副学長)

○広西医科大学(中国)…学部間協定  
1. 日時：2009年3月17日 9:30～10:30  
2. 訪問者：広西医科大学 黄光武学長(Huang Guangwu)他4名  
3. 同席者：平工医学系研究科講師

○河南省林業庁訪日団(中国)  
1. 日時：2009年4月17日 14:00～14:30  
2. 訪問者：河南省林業庁 張勝炎 副庁長 他21名  
3. 同席者：江原国際交流担当学長補佐(生物資源学研究科教授)

